

# 発刊に当たって

新しい学習指導要領においては、理科で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持って観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなどの科学的に探究する学習の充実を図ることとしています。

このことを踏まえ、北海道立教育研究所附属理科教育センターでは、理科全体の領域横断の視点での資質・能力の育成を目指した探究的な学習プログラムを開発するほか、学校種間の学習内容の連続性・系統性を踏まえた、育成すべき資質・能力の評価方法の開発に取り組んできました。その成果を研修講座に取り入れ、「現場第一主義で、未来教育の創造を」を経営理念として掲げ、種々の業務を通して、北海道の教育関係者や学校が持つ可能性を最大限に発揮できるよう努めているところです。

本研究紀要は、令和元年度に当センターの職員及び研究連携校の担当者が取り組んだ調査研究や教材開発等の成果をまとめたものです。

各学校においては、本研究紀要をご高覧いただき、本道の理科教育の振興に広く役立てられるよう期待します。

令和2年3月

北海道立教育研究所長

北 村 善 春